授業科目　カウンセリング論（新カリ）

【担当教員名】	対象学年	2	対象学科	社会
伊東　正裕	開講時期	後期	必修・選択	選択
	単位数	2	時間数	30

【一般目標：ＧＩＯ】

ソーシャルワーク実践は人間関係の微妙な交互作用に係わっており、ソーシャルワーカーはコミュニケーションのツールとしてカウンセリングに熟達している必要がある。この授業では、カウンセリングの実践上・理論上の諸問題について多角的に学び、カウンセリングをソーシャルワークに応用するための基本を理解し、習得することを目的とする。

【行動目標：ＳＢＯ】

1．カウンセリングを「学ぶこと」の意義を説明できる。
2．カウンセリングをめぐる実践的・理論的諸問題について説明できる。
3．ソーシャルワークにおいてカウンセリングを応用するための適切な態度や基本的技法について説明できる。
4．ソーシャルワークにおいて必要なカウンセリングの技法を用いることができる。
5．カウンセリングにおける理論と実践の関係について説明できる。

回数	授業計画又は学習の主題	SBO番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	オリエンテーション：カウンセリング理論を学ぶ意味	1	講義
2	カウンセリングの目的	2.3.4.	講義
3	カウンセラーの倫理	2.3.4.	講義
4	カウンセリングの実際（1）人を分かるということ	2.3.4.	講義
5	カウンセリングの実際（2）初回面接と面接のゴール	2.3.4.	講義
6	カウンセリングの実際（3）来談理由の理解	2.3.4.	講義
7	カウンセリングの構成要素（1）五つの構成要素・聴くこと	2.3.4.	講義
8	カウンセリングの構成要素（2）見ること	2.3.4.	講義
9	カウンセリングの構成要素（3）対等な出会いと専門的関係	2.3.4.	講義
10	カウンセリングの展開（1）ストーリーを読むこと	2.3.4.	講義
11	カウンセリングの展開（2）受け止めること	2.3.4.	講義
12	家族をめぐる問題	2.3.4.	講義
13	劇としてのカウンセリング	2.3.4.	講義
14	理論と実践：フロイトとロジャーズの場合	5	講義

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年・価格・その他＞
教科書	面接法	熊倉伸宏	新興医学出版	２００２　１５００円
参考書	新訂・方法としての面接	土居健郎	医学書院	１９９２　１８００円
その他の資料	適宜プリントを配布する。			

【評価方法】

定期試験（レポート）

【履修上の留意点】

受講生は、テキストを一度は通読して、カウンセリングの概略を理解しておくこと。
この授業は、3年次前期に開講する「カウンセリング技法」につながるものでる。